

# 2024年度同志社大学大学院博士後期課程次世代研究者挑戦的研究プロジェクト 支援対象学生 募集要項

2021年度より実施してきた若手研究者育成フェローシップ制度と次世代研究者挑戦的研究プロジェクトが一体化され、2024年度から大学院博士後期課程及び一貫制博士課程の学生のための新たな支援プロジェクトが開始されます。このプロジェクトにおいて、支援対象学生に採用された皆さんには、研究奨励費（生活費相当額）と研究費の支援が受けられます。

支援対象学生は、研究に対する意欲を有し続け、将来の我が国の科学技術・イノベーション創出を担う、個の尊厳とヒューマニティを損なわない倫理や良心を備えた高度専門人材となることが期待されています。また、同志社大学は、科学技術・イノベーション創出に対して、文理を融合する視点を重視し、ダイバーシティ、多文化共生や環境等の社会課題をテーマとする教育・研究活動を推進しています。支援対象学生に採用された皆さんには、これら社会課題と自身の研究の接点を考えることによって、キャリアパスの幅が広がることを期待しています。

支援対象学生は、研究者としての発展につながる海外活動（インターンシップ、留学、研究交流、フィールドリサーチ）を企画・立案することが求められており、実効性の高い計画に対して、渡航費等の支援が受けられます。

また、自らの研究を大きく発展させる挑戦的・融合的研究課題の公募を行い、優れた提案に対して研究費の増額を行います。

2023年度9月に本学博士後期課程へ入学または2024年4月に入学予定の方、一貫制博士課程3年次生となる予定の方（3年次転入予定者含む）が応募できます。すべての研究科が対象です。

**募集期間 2024年3月1日（金）～3月14日（木）15時00分00秒（日本時間）【締切厳守】**

## 1. 目的

同志社大学大学院博士後期課程次世代研究者挑戦的研究プロジェクト（以下「本プロジェクト」という。）は、科学技術・イノベーションの将来を担う最先端の科学技術の創出能力のみならず、個の尊厳とヒューマニティを損なわない倫理や良心を備えた高度専門人材の育成を目的とします。

本学が理念として掲げる、高い学術研究力による深い学識と卓越した実践能力を用いて時代を切り拓き、異なる価値観・世界観を持つ他者や異文化を理解し、協働できる真の国際人の養成に向け、人文・社会・自然科学の相互理解力を涵養し、グローバルな視点で将来の社会課題を予測しながら解決する研究者の養成を目指します。

## 2. 内容

本学は、国立研究開発法人科学技術振興機構の「次世代研究者挑戦的研究プログラム（SPRING）」（以下「本事業」という。）として実施される本プロジェクトを通じて、自由で挑戦的・融合的な研究に意欲的に取り組む大学院博士課程学生に対し、研究活動に専念して研究力の向上を図ることができる環境（「6. 研究奨励費等」を参照）を整備するとともに、キャリアパスの確保に向けた各種プログラムを一体的に実施します。

## 3. 対象

本プロジェクトの支援対象者は、研究科や研究室など既存の枠組みを越えて、社会課題への挑戦、新たな領域の開拓、世界を股にかける実践を目指そうとする、これからの時代を切り拓きたいと強く希望する博士後期課程学生とします。所属研究科や研究分野は問いません。また、本プロジェクトに採用された者（以下「支援対象学生」という。）には、研究力の向上に邁進するとともに、本学が提供するキャリアパスの確保に向けた各種プログラムを計画的に受講、実践し、自立的なキャリア形成に取り組むことを求めます。

## 4. 採用人数

16名

\*2024 年度中に支援対象学生に欠員が生じる場合は、今回の審査結果を踏まえて、追加採用する  
場合がある。その場合、支援開始時点で休学している者は、追加採用の対象としない。

## 5. 採用期間

標準修業年限\*、かつ 2024 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日までの 3 年間とします。

博士後期課程 1 年次～3 年次又は一貫制博士課程 3 年次～5 年次の 3 年間を指します。

本公募で採用された方は、標準修業年限からすでに在学した期間を差し引いた残りの期間が採用期間  
となります。長期履修制度を利用している場合であっても、標準修業年限を超える期間は支援対象となり  
ません。

## 6. 研究奨励費等

支援対象学生には、採用期間中、研究奨励費：180 万円（年額）と研究費：40 万円（年額）を支給し  
ます。

※ 研究奨励費は、雑所得として課税対象となるため、各自で確定申告等の手続きが必要となります。

※ 研究奨励費は、上記の年額を月割計算した金額を支援期間の終了日の属する月まで毎月支給し  
ます。

※ 研究費は、本学において執行管理します。

※ 研究費は、本プロジェクトおける公募研究や海外活動のために増額されることがあります。

## 7. 応募資格

以下の要件を満たす者とします。

2023年度秋学期に本学大学院博士後期課程に入学、もしくは2024年度春学期に入学予定の者、また  
は2024年4月1日時点において、一貫制博士課程3年次に在学予定の者（転入学予定者含む）。

ただし、2024 年 4 月 1 日以降に次のいずれかの身分等を有する（見込みの）者は除きます。

- (1) 独立行政法人日本学術振興会特別研究員
- (2) 国費外国人留学生等制度による支援を受ける留学生
- (3) 本国からの奨学金等の支援を受ける留学生
- (4) 研究専念義務が生じるその他奨学金、奨励金受給者
- (5) 所属機関から生活費相当額として年間 240 万円を超える給与、役員報酬又はその他の安定的な  
収入を得ている者
- (6) その他本事業の支援対象外となる者

\* 資格確認のために、収入に関する証明書類等の提出を求めることがあります。

## 8. 義務

支援対象学生は、次に掲げるすべての事項を行わなければなりません。

- (1) 同志社大学研究倫理規準を遵守すること。
- (2) 同志社大学における研究活動上の不正行為への対応に関する規程に定める責務を果たす  
こと。
- (3) 本学及び科学技術振興機構が指定する研究倫理教育を履修すること。
- (4) 事業統括が指定する企業交流会等のキャリア開発支援プログラムに参加すること。
- (5) 博士キャリア・コーディネーターによる定期面談（年 2 回）を受けること。
- (6) 高等研究教育院のアドバンス・リベラルアーツ科目群に設置するキャリア形成支援科目のうち  
事業統括が指定する科目を履修すること。
- (7) 自身の研究を大きく発展させるための研究計画と、そのための効果的な研究費の使用につい  
ての研究計画書を毎年度初めに作成し、提出すること。
- (8) 初年度に 3 年分の海外活動計画を作成し、提出すること。海外活動計画は、自身の研究を発展  
させる、もしくは研究者としての発展につながる活動を計画・立案し、指導教員の確認を得た上

で提出すること。提出された海外活動計画は事業統括が審査し、実効性の高い計画から順次海外活動費を支援する。なお、海外活動費の支援の有無に関わらず、プロジェクト採用期間内に最低1回はその海外活動を実行すること。

- (9) ジョブ型インターンシップのシステムに登録すること。
- (10) 科学技術振興機構が本事業のために実施する学生交流会等の諸行事に参加すること。
- (11) 科学技術振興機構及び本学が実施する各種調査に協力すること。
- (12) 学会等への参加、論文の投稿、口頭発表及び研究論文のセルフアーカイブを積極的に行うこと。
- (13) 活動報告書を事業統括に毎年度提出すること。
- (14) 文部科学省科学技術・学術政策研究所(NISTEP)の博士人材データベース(JGRAD)(以下「JGRAD」という。)に登録すること。

支援対象学生は、本プロジェクトによる支援終了後も次のことをしなければなりません。

- (1) 本学及び科学技術振興機構が実施する博士課程修了後の追跡調査に協力すること。
- (2) JGRADの情報を逐次更新すること。

## 9. 奨学金等との併給

次の給付制奨学金との併給を認めます。

- (1) 同志社大学大学院博士後期課程若手研究者育成奨学金
- (2) 同志社大学大学院奨学金
- (3) 同志社大学寄付奨学金
- (4) 同志社大学大学院脳科学研究科特別奨学金
- (5) 同志社大学大学院私費外国人留学生授業料減免特別奨学金
- (6) 同志社大学私費外国人留学生授業料減免奨学金
- (7) 同志社大学私費外国人留生成績優秀者授業料減免奨学金
- (8) 独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)奨学金
- (9) その他学費への充当を前提とする奨学金

## 10. 採用取消等

- (1) 次世代研究者挑戦的研究プロジェクト期間中に日本学術振興会特別研究員に採用された場合は、支援対象学生の採用を辞退いただくことになります。
- (2) 休学した場合、休学期間の研究奨励費等の支給を停止します。
- (3) 研究活動の進捗状況や8.の履行状況が、支援対象学生としてふさわしくないと判断された場合は、研究奨励費及び研究費の支給を停止し、採用を取り消すことがあります。
- (4) 支援対象学生が同志社大学学生の懲戒に関する規程により懲戒の処分を受けた場合等には、採用を取り消し、研究奨励費及び研究費の全部又は一部を返還いただくことがあります。
- (5) 研究活動上の不正行為への対応に関する規程第34条の適用を受けた場合は、既に支給した研究奨励費及び研究費の全部又は一部を返還いただくことがあります。
- (6) 退学等により本学の学籍を失った場合、研究奨励費等の支給を終了します。

## 11. 申請手続き

- (1) 募集期間 2024年3月1日(金)~3月14日(木)15時00分00秒(日本時間)【**締切厳守**】
- (2) 申請書類

○申請書(所定フォーム(Microsoft Forms)への入力)

・申請者の英語能力について、直近の公的試験の点数などを記入して頂きます。

例) TOEIC 800点、英検準1級、IELTS6.0

※本プロジェクトにおけるキャリア開発支援プログラム(英語プレゼンテーション研修など)の受講や海外活動の実施において、一定以上の英語能力が求められます。入力いただいた情報は、同プログラム整備の参考情報とさせていただきます。

※今回の募集では証明書の提出は求めませんが、次年度以降は、本プロジェクトによる支援の効果(キャリア開発支援プログラム等)を確保するために、一定以上の点数を応募条件とし、証明書

の提出を求める可能性があります。次年度以降の応募を検討されている方は、自身の英語能力の向上を図るとともに、公的試験による英語能力の点数等、英語能力を証明できる書類を保存しておいてください。

○志望理由及び研究計画書(所定様式)※本文は10.5ポイント以上で記載すること。

記載事項:

- ・【志望理由】(本プロジェクトは、既存の枠組みにとらわれない自由で挑戦的・融合的な研究を支援することを目的としています。自身が目指す研究者像を明確にし、それに向けて本プロジェクトをどの様に活かすのか、どの様に取り組むのか、といった視点から志望理由について簡潔に記入してください。)
- ・【海外活動計画】(本プロジェクトでは、研究者としての挑戦性、自立精神を醸成することを目的として、自らの研究課題を海外でどのように発展させるかという海外活動計画を提案していただきます。自身の研究が国際的な研究動向において、どの様な位置付けなのか、その上で自らの研究を発展させるために、どの様な国際的な活動を行っていくかについて具体的に記入してください。)
- ・【研究計画書】
  - ①これまでの研究状況、自身に取り組む研究の位置づけ、当該分野の状況や課題等の背景について記入してください。
  - ②研究計画における研究目的、研究方法、研究内容(支給される研究費をどの様に利用し、研究の発展を図るのか)について記入してください。
  - ③研究の特色・独創的な点(先行研究等との比較、本研究の完成時に予想されるインパクト、将来の見通し等)にも触れて記入してください。
  - ④社会課題を解決するアプローチについての構想:社会課題を解決する上で、自己の研究がどの様に活かせるのかについて記入してください。

○指導教員からの推薦状(指定様式)

- ・本プロジェクトに採用されると、自らの研究活動に加え、研究者としてのキャリア開発にも取り組んでいただきます(「8.義務」参照)。採用後の研究活動とキャリア開発の両立にあたり、あらかじめ指導教員からの推薦状をもらって提出してください。

## 12. 選考基準

- (1) 研究者としての素養を有し、明確なビジョンを有すること。
- (2) 研究計画、研究内容が具体的であり妥当性が高く、発展性があること。
- (3) 研究者として明確なキャリアパス計画(海外活動を含む)があること。

## 13. 選考方法等

書面審査及び面接審査により、支援対象学生を選考します。書面審査は、「志望理由及び研究計画書」に基づき実施します。面接審査は、書面審査を通過した者のみを対象とします。面接審査の詳細は、2024年3月29日(金)17:00までに、面接審査対象者にEメールにて連絡します。

### 【面接審査日程】

開催形態:今出川校地にて対面での開催

開催日程:2024年4月3日(水) 9:00 ~ 15:00

面接時間:1人 10分【プレゼンテーション3分(時間厳守)+質疑応答(7分)】

### 【面接審査詳細】

- ・ 面接審査は、研究者としての自己分析と、自身の今後の発展・向上計画について、本プロジェクトが重要としている3つの観点(研究遂行力、国際性の涵養、トランスファラブルスキルの獲得)から評価します。
- ・ あらかじめ提出したプレゼンテーション資料(詳細は以下【プレゼンテーション資料】を参照)を用いて3分間のプレゼンテーション(時間厳守)を実施していただきます。発表の途中であっても、3分の時点で終了としますので、ご注意ください。続いて、審査委員より質疑応答があります。
- ・ 審査委員は、応募者の研究領域の専門家ではありませんので、専門外の研究者にもわかりやす

いプレゼンテーションをお願いします。

- ・ 面接を欠席した場合は、面接審査の評点は加算されません。面接を欠席する場合には、面接審査対象者への通知メールにおいて指定した時刻までに、その旨 SPRING 運営事務局までご連絡ください。
- ・

#### 【プレゼンテーション資料】

- ・ プレゼンテーション資料の様式は、自由ですが、原則パワーポイントを使用し、本プロジェクトが重要としている①研究遂行力②国際性の涵養③トランスファラブルスキルの獲得の要素を含んだ内容にしてください。  
作成例：  
(研究遂行力) 目指す研究者像、それに向けて行う研究の位置づけ  
(国際性の涵養) 研究者として国際的に活躍するビジョンと海外活動計画  
(トランスファラブルスキル) 研究力以外で必要と考える能力と伸ばすための計画
- ・ ファイルは、PDF ファイル(10MB まで)として、2024 年4月1日(月)12:00(正午)までに、面接対象者への通知メールに記載した提出用フォームから提出して頂きます。いかなる理由があっても、差し替えは認めません。あらかじめよく確認の上、ご提出ください。
- ・ 面接審査対象の連絡からプレゼンテーション資料の提出まで、あまり時間がありませんので、事前に作成されることをお勧めします。
- ・ 期限までにプレゼンテーション資料が提出されない場合には、面接審査に付されませんので、ご注意ください。
- ・ プレゼンテーション資料の受領後、受領確認メールを送付します。プレゼンテーション資料の提出後、しばらく待っても受領確認メールが届かない場合は、SPRING 運営事務局(「17. 問合せ先」)までご連絡ください。

#### 14. 採用決定通知日

応募者には採否の結果を 2024 年4月15日までにメールでお知らせします。残念ながら不採用となった応募者には、全体の応募者のなかでのおよその順位をお知らせします。4 月17日までに連絡がない場合は、SPRING 運営事務局 (dfs-spring@mail.doshisha.ac.jp) にご連絡ください。

#### 15. 提出方法

以下の所定フォーム (Microsoft Forms) から電子申請を行ってください。所定フォームへ必要事項を入力し、PDF ファイルに変換した「志望理由及び研究計画書」並びに「指導教員からの推薦状」をアップロードの上、送信してください。なお、所定フォームへのアクセス時に、大学付与のメールアドレスでログインする必要があります。

また、各ファイル容量は 10MB 以内とし、ファイル名はそれぞれ、「研究科名\_応募者氏名.pdf」、「研究科名\_応募者氏名\_推薦状.pdf」としてください。

(例: 神学研究科\_同志社太郎.pdf / 神学研究科\_同志社太郎\_推薦状.pdf)

申請書類提出はこちらから ⇒ [≪申請書類提出 所定フォーム≫](#)

(QR コードからもアクセス可能です)



\*同志社大学のユーザ ID をお持ちでない場合には、17. の問合せ先にその旨ご連絡ください。

#### 16. 公募内容説明資料・申請書様式等

[https://kikou.doshisha.ac.jp/inside/wakate/sprig/spring\\_members.html](https://kikou.doshisha.ac.jp/inside/wakate/sprig/spring_members.html)

#### 17. 問合せ先

京田辺校地ローム記念館2階 同志社大学大学院博士後期課程 次世代研究者挑戦的研究プロジェクト(SPRING) 運営事務局 (研究開発推進機構研究企画課)

TEL:0774-65-8257 FAX:0774-65-7757 E-Mail:[dfs-spring@mail.doshisha.ac.jp](mailto:dfs-spring@mail.doshisha.ac.jp)

#### 18. その他

・本プロジェクトの支援対象学生に採用された場合は、支援対象学生として氏名・研究分野・研究テーマ等を公表します。また、研究成果や活動状況の公表に積極的に協力していただくことが期待されています。

#### 19. 重要な留意事項

・本募集は、現在申請中の国立研究開発法人・科学技術振興機構「次世代研究者挑戦的研究プログラム(令和6年度)」において、本学が申請した支援枠数で採択されることが前提となっています。従って、同プログラムにおいて、不採択の場合は、募集は行われません。また、支援枠数が削減されて採択された場合は、採用人数が変更されることをあらかじめご了承ください。

以上

## ～事業統括からのメッセージ～

本プロジェクトは、科学技術・イノベーションの将来を担う博士後期課程学生を支援するものです。現代社会が抱える問題はいずれも複合的なものであるため、一つの専門領域だけで解決することはできません。専門的な知見を備え、同時に社会の諸課題を俯瞰する力が求められています。本プロジェクトのもとで、課題解決のためのそうした能力を養ってください。

同志社の設立者・新島襄は次のような漢詩を書き記しています。

真理似寒梅敢侵風雪開

(真理は寒梅のごとし。あえて風雪を侵して開く。)

新島は、真理を社会や時代の趨勢に挑戦する力として語っています。そして、このような挑戦する精神を同志社は受け継いでいます。みなさんが次世代を担う、挑戦的な真理の探究者となられることを願っています。

同志社 150 周年、  
その先の未来はあなたの双肩に。  
真理の扉を開き、新たな道を拓け!



同志社大学大学院博士後期課程  
次世代研究者挑戦的研究プロジェクト

事業統括

神学部／神学研究科教授

小原 克博

### 2024年度同志社大学大学院博士後期課程次世代研究者挑戦的研究プロジェクト 支援対象学生 選考日程

2024年3月1日(金)～3月14日(木) 15時00分00秒【締切厳守】

2024年3月15日(金)～3月28日(木)

2024年4月3日(水)

2024年4月15日(月)

募集期間

書類審査

面接審査

結果通知

(別紙)

## 同志社大学大学院博士後期課程次世代研究者挑戦的研究プロジェクト支援対象学生に 義務付けるキャリア形成科目の履修及び海外活動並びに奨励する諸活動について

大学院博士後期課程次世代研究者挑戦的研究プロジェクト  
事業統括 小原 克博

同志社大学大学院博士後期課程次世代研究者挑戦的研究プロジェクト(以下「本プロジェクト」)に採用された学生には、社会の一員として、自身の研究の社会との接点を考察し、研究成果を社会に還元していくために、挑戦的、融合的に研究を遂行する能力を身につけることが求められています。

同志社大学大学院には、多文化共生(GRM)、Society 5.0(Comm 5.0)や環境(「次の環境」協創)等の人類共通の重要課題をテーマにする教育プログラムがあり、2021年度には大学院における共通教育として、アドバンス・リベラルアーツ科目群(ALA 科目群)を開設し、先端科学技術や社会政策、経済政策に限らず、身体・生命、地理、地政、歴史、文化、宗教、文学などの多様な知恵を糾合した文理融合教育を推し進めています。

本プロジェクトに採用された皆さんには、自身の研究を社会、世界の変化に対応させていく知識・技術の幅を広げ、グローバルに他者と協創し、社会課題について課題解決に向けたアイデアを提案・実現できる研究者として、キャリアを形成していただくことを願っています。

### 1. 他者と共創する科目

#### 【登録履修を義務】

高等研究教育院(以下「高等院」)のALA科目群の「フューチャーデザイン演習」を履修すること。

#### 【登録履修を推奨】

Capacity Development for Coexistence and Cooperative Works もしくは、On-site Group Work、セルフアウェアネス(コーチング入門)の登録履修を推奨する。

### 2. 知識・技術の幅を広げる科目

高等院のALA科目群(「次の環境」協創、GRM、Comm 5.0科目)の登録履修を奨励する。各プログラムに設置する科目を体系的に履修し、プログラムの修了を目指すことを推奨する。

### 3. 科目履修以外のキャリア形成プログラムへの参加

研究開発推進機構が提供する能力開発支援プログラム(論文作成、英語プレゼンテーション等)並びにキャリア形成プログラム(企業交流、研究発表会等)に積極的に参加すること。

また、自分自身のキャリアパスを明確にする過程において、博士前期(修士)課程学生のキャリア支援や大学院共通科目の運営に積極的に関わることを推奨する。

### 4. 海外活動の義務(国際性の涵養)

自ら企画・立案する海外活動(インターンシップ、留学、研究交流、フィールドリサーチ)を行い、国際性を高めること。

### 5. 協創性、実践力の涵養

協創性を培い、実践力を身に付ける場として、研究インターンシップ等に参加することを奨励します。

### 6. 科学技術振興機構が主催する行事への参加

「次世代研究者挑戦的研究プログラム」に参加する博士後期課程学生が、大学横断的に交流を行う交流会への参加など、他大学の学生との交流を通じ、学生同士の相互触発やネットワークづくりが期待されています。

### 7. その他

ALA科目群についての情報はプログラム履修要項やホームページで確認して下さい。



(別紙)

HP:<https://next.doshisha.ac.jp/>

科目登録等の手続きの詳細は、採択者に別途案内します。

科目履修に係る交通費等の費用は、自己負担とします。

以上

【高等研究教育院の科目履修に関する問合せ先】

同志社大学高等研究教育院事務室

075-251-3259

[ji-ktken@mail.doshisha.ac.jp](mailto:ji-ktken@mail.doshisha.ac.jp)